



平成 21 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド ワ ン ゴ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 宏
 (コード番号：3715東証第一部)
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 松 本 康 一 郎
 業 務 本 部 長
 (TEL . 0 3 - 3 6 6 4 - 5 4 7 7)

特別損失の発生および平成 21 年 9 月期業績予想
(連 結 ・ 個 別) の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 21 年 9 月期決算において下記の通り特別損失が発生いたします。その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 11 月 13 日付で公表いたしました平成 21 年 9 月期 (平成 20 年 10 月 1 日 ~ 平成 21 年 9 月 30 日) 連結業績予想および個別業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1 . 特別損失の発生および内容について

連結におきまして、事業資産の減損損失 11 億 5 百万円、子会社事務所移転に伴う減損損失 8 百万円、固定資産除却損 4 百万円を計上いたします。

事業資産の減損損失につきましては、「ニコニコ動画」の事業投資に対する今後の回収可能性について慎重に検討し監査法人とも協議を重ねた結果、損失を計上するものです。

また、個別におきましては、子会社株式に対する投資損失引当金繰入額 14 億 36 百万円、上記の事業資産の減損損失 11 億 2 百万円、関係会社株式評価損 1 億 99 百万円、投資有価証券評価損 8 百万円、固定資産除却損 4 百万円を計上いたします。

2 . 業績予想の修正について

(1) 連結

(単 位 : 百 万 円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成 20 年 11 月 13 日(A))	28,900	420	410	280
今 回 見 通 し (B)	26,568	397	342	828
増 減 額 (B - A)	2,332	23	68	1,108
増 減 率 (%)	8.1	5.5	16.6	-
(ご参考)前期(平成 20 年 9 月期)実績	24,978	115	107	2,298

(2) 個別

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成20年11月13日(A))	21,700	200	240	240
今回見通し(B)	21,235	673	716	2,247
増減額(B-A)	465	473	476	2,487
増減率(%)	2.1	-	-	-
(ご参考)前期(平成20年9月期)実績	18,705	32	92	2,117

(3) 修正の理由

売上高につきましては、モバイル事業において人気アーティスト・楽曲の権利獲得や様々なタイアップ企画などを積極的に行ったことや効果的なプロモーションを行ったことなどにより、着うたフルサイトの会員数が順調に推移いたしました。一方、ゲーム事業において、人気シリーズタイトル2作が売上貢献したものの、全般的な販売計画本数の未達、さらにポータル事業において、「ニコニコ動画」のプレミアム会員数は計画達成したものの、広告収入が経済情勢の影響を受けるなど、計画未達となっており、平成20年11月13日に公表いたしました予想を下回る見込みであります。

経費につきましては、着うた・着うたフルの利用増加傾向が続き、著作権使用料が増加いたしました。外注費や広告宣伝費、研究開発費などを圧縮いたしました。

また、「ニコニコ動画」に掛かる費用につきましては、人気サービスである「ニコニコ生放送」に係わる制作費用が発生しておりますが、ほぼ計画通りに推移いたしました。

「ニコニコ動画」は本格的なサービス開始から3年目を迎え、その会員数は平成21年9月期末現在1,425万人となり引き続き堅調に推移しております。しかし、引き続き成長に合わせたサーバーの増設や回線などのインフラ費用、新たなサービスへの投資が先行し、未だ収益への貢献には至っておりません。

また、上記1.のとおり特別損失の計上などを主な要因として、業績予想を修正するものです。

結果、連結業績については、売上高265億68百万円(前期比6.4%増)、営業利益3億97百万円、経常利益3億42百万円、当期純損失8億28百万円、個別業績については、売上高212億35百万円(前期比13.5%増)、営業利益6億73百万円、経常利益7億16百万円、当期純損失22億47百万円を見込んでおります。

配当につきましては、前回予想発表時どおり年間2,000円を予定しております。

以 上